



BUSINESS REPORT

第 62 期 中間報告書 2012.2.1 >>> 2012.7.31

積水ハウス株式会社

証券コード：1928



積水ハウスは環境省認定
「エコ・ファースト企業」として
「チャレンジ25」に取り組んでいます



グリーンファーストは Green First

積水ハウスは、グリーンファースト

なぜ選ばれるのか Vol.5 — お客様に圧倒的に支持される理由 —

快適性と経済性、そして環境配慮をキーワードに開発された理想の住まい「グリーンファースト」。2009年の発売以来、お客様から高い評価をいただいているポイントをシリーズで解説していきます。

家づくりからまちづくりへ、グリーンファーストの拡がり



豊かで心地よい暮らしと環境配慮を両立する「グリーンファースト」は、さらなる先進技術を導入した「グリーンファースト ハイブリッド」へと進化。世界初の太陽電池・燃料電池・蓄電池の3電池連動とHEMS（ホームエネルギー・マネジメントシステム）が実現する「創エネ」+「蓄エネ」が、これからのまちづくりを支えます。

新築戸建住宅の「グリーンファースト」比率

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度(上期)
比率	52%	71%	78%	84%

※当社の事業年度は2月1日から翌年1月31日まで

● 先進技術が支える「スマートコモンシティ」の豊かな暮らし ●

東日本大震災後の社会変化を受け、エネルギーの自立やコミュニティの再生をテーマとしたスマートハウス、スマートタウンへの期待が高まっています。そうした社会の要請に応え、積水ハウスは「グリーンファースト ハイブリッド」を軸とする「スマートコモンシティ」を提案します。

コンセプトは「SLOW & SMART」 ゆっくり生きてゆく、住まいの先進技術。まち全体で「省エネ」「創エネ」を図りつつ、住む人々に安心と満足をもたらすことが「スマートコモンシティ」の役割です。ふだんどおりの快適な生活を送りながら、サステナブルな社会づくりに貢献する「自立した家」。「グリーンファースト」が選ばれる理由がそこにあります。

今号の表紙について

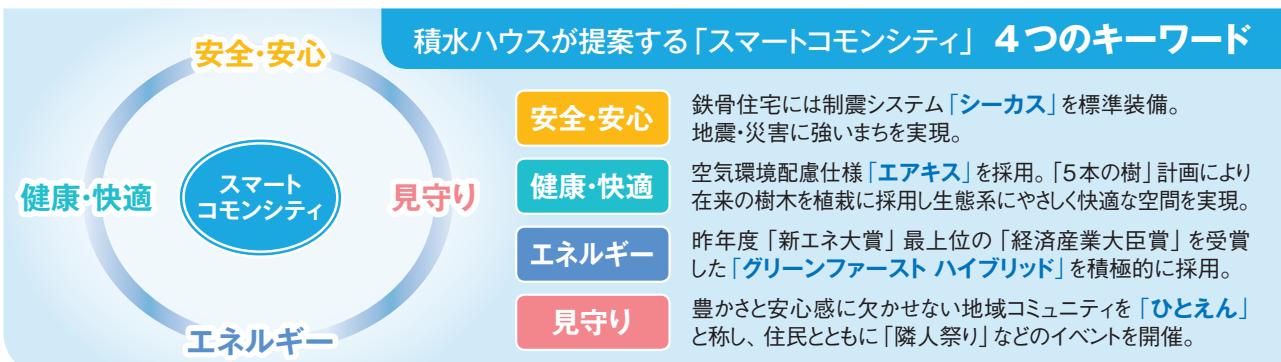


「グリーンファースト ハイブリッド」による最先端のスマートハウスが立ち並ぶ「スマートコモンシティ明石台」のまちなみ。地域全体の電力エネルギーを最適化しつつ、暮らしの快適さと安全・安心を守るまちづくりは、震災復興とともにサステナブルな社会を実現していきます。

エネルギー問題を解決し、コミュニティの形成も推進

「スマートコモンシティ明石台」が誕生

2012年4月、東北復興の一翼を担う日本初のスマートタウンとして、「スマートコモンシティ明石台」が宮城県仙台市北部に誕生しました。



「スマートコモンシティ明石台」中核は「グリーンファースト ハイブリッド街区」

「スマートコモンシティ明石台」は、総区画数431戸の規模を有し、震災後の開発案件では宮城県内最大級の団地です。まち全体で1年間に発電する発電量は、消費電力量を7割上回る2,508MWh。近隣世帯へ1,039MWhもの電力供給が可能な「まち全体が発電所」となります。その中核は、全体の2~3割を占める「グリーンファースト ハイブリッド街区」。太陽電池・燃料電池・蓄電池の3電池とHEMSの搭載で「エネルギーの自立」を牽引しています。

また、制震システム「シーカス」や、化学物質を軽減する空気環境配慮仕様「エアキス」の採用など、「スマートコモンシティ」の4つのキーワードで当社独自のスマートタウンを実現。「SLOW & SMART」のコンセプトに基づく安心と豊かさを提案しています。



上空から見た「スマートコモンシティ明石台」

「スマートコモンシティ」の全国展開をスタート

積水ハウスは、この「スマートコモンシティ明石台」を皮切りに、全国各地で「スマートコモンシティ」を展開します。すでに「スマートコモンステージけやき平」(茨城県古河市)などのプロジェクトが進行中。未来に向けてサステナブルなまちづくりをこれからも上げていきます。

「スマートコモンライフ甲府富士見」
(山梨県甲府市)

「アイランドシティ照葉のまち」
(福岡県福岡市) CO₂ゼロ街区

「スマートコモンシティ明石台」
(宮城県黒川郡富谷町)

「スマートコモンステージけやき平」
(茨城県古河市)

「スマートコモンステージめいわひかりが丘」
(千葉県四街道市)

「スマートコモンシティちはら台」
(千葉県市原市)

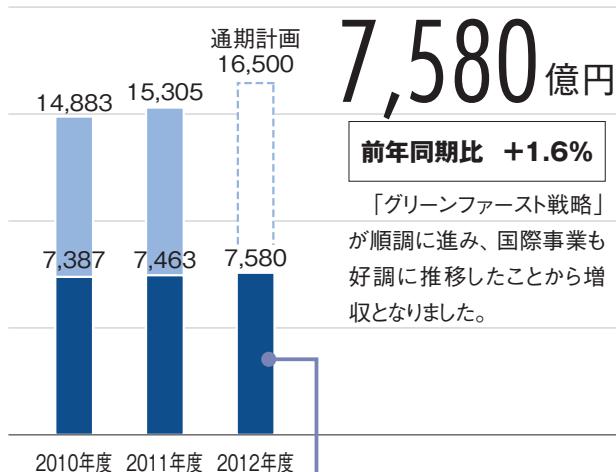
「スマートコモンステージ瀬谷」
(神奈川県横浜市)

連結決算ハイライト

売上高

(億円)

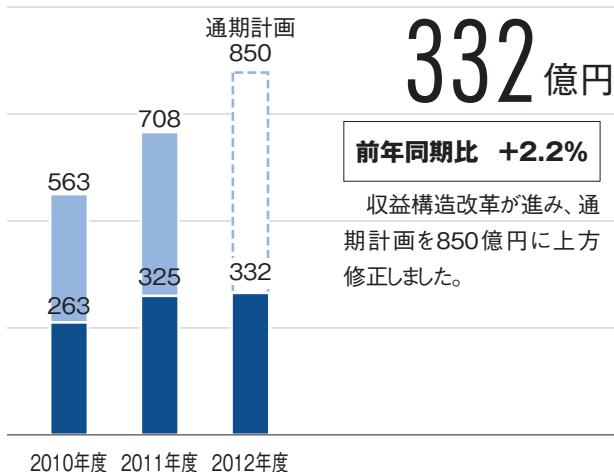
■第2四半期 ■通期



営業利益

(億円)

■第2四半期 ■通期



セグメント別売上高

その他

278億円 (前年同期比 +3.0%)

エクステリア事業の売上が増加しました。

国際事業

190億円 (前年同期比 +98.1%)

オーストラリアのマンション販売に加え、北米での分譲地販売により、売上は順調に推移しました。

不動産フィー事業

1,960億円 (前年同期比 +4.3%)

積和不動産各社をはじめグループ連携強化により、高い入居率を維持したことで増収となりました。

リフォーム事業

547億円 (前年同期比 +9.6%)

太陽光発電システムをはじめとする「グリーンファーストリフォーム」が順調に推移し、増収となりました。

都市再開発事業

189億円 (前年同期比 -26.4%)

昨年の大型物件売却による影響を受け、減収となりました。

戸建住宅事業

2,232億円 (前年同期比 -2.0%)

「グリーンファースト戦略」が奏功し受注は堅調に推移。昨年下期の受注減により売上は微減となりました。

賃貸住宅事業

1,395億円 (前年同期比 +4.6%)

都市部を中心としたエリア戦略や太陽光発電システムを搭載物件が増えたことにより増収となりました。

分譲住宅事業

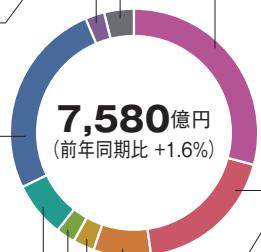
584億円 (前年同期比 -10.7%)

「スマートコモンシティ」の開発など「グリーンファースト戦略」を前面に出し、受注は改善しました。

マンション事業

202億円 (前年同期比 +4.0%)

在庫圧縮が一巡し、受注が好調に推移したことから増収となりました。

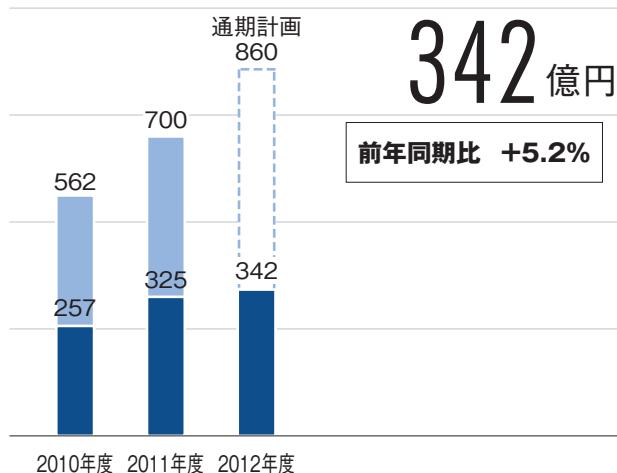


※ 2012年度より、「その他」に含まれる「国際事業」を単独セグメントとし、9セグメントへ変更しました。

経常利益

(億円)

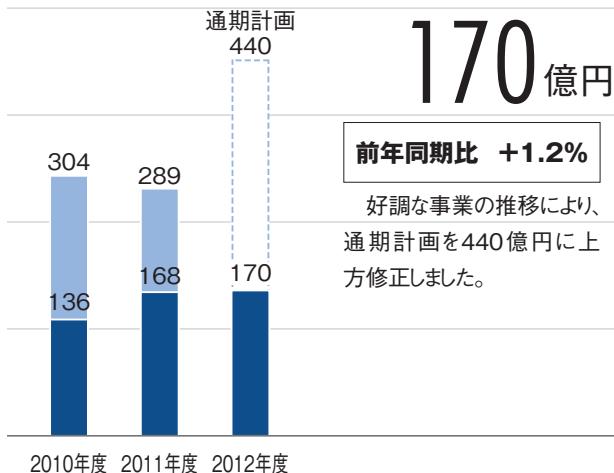
■第2四半期 ■通期



当期純利益

(億円)

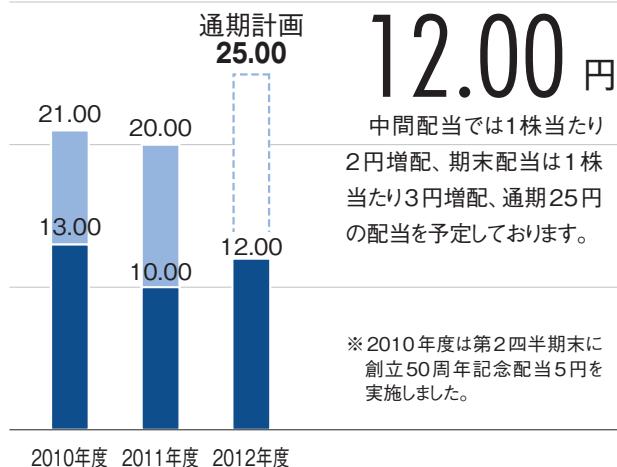
■第2四半期 ■通期



1株当たり配当金

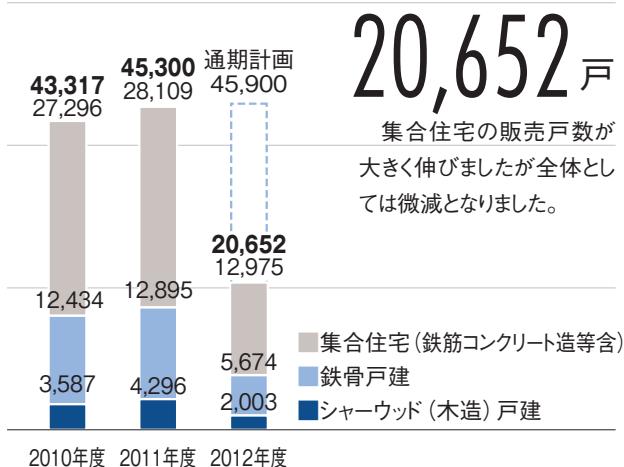
(円)

■第2四半期 ■通期



販売戸数実績

(戸)



中期経営計画の最終年度、 業績は順調に推移。



代表取締役社長兼 COO
阿部 俊則

代表取締役会長兼 CEO
和田 勇

戸建から賃貸住宅、リフォーム事業まで、 「グリーンファースト」で、着実に成長。

2010年度に策定した中期経営計画は、いよいよ3年目の最終年度を迎えました。ここまで、当初計画を上回る業績を達成し、今期も順調に推移しています。

これは、セグメント別の各事業がそれぞれに、これまで以上に緻密な戦略を構築し、その成果を積み重ねてきた結果です。

東日本大震災後、私たち日本人の住宅、住環境に対する考え方は大きく変化しました。耐震性の向上、安全・安心

の確保、さらに、エネルギー問題を含めたトータルな観点からの環境対応への関心の高まり。こうした社会の動きはまさに、積水ハウスが1999年に「環境未来計画」を発表して以来、一貫して推進してきた事業展開、技術開発と流れをひとつにするものです。

その象徴が、現在の好調な業績を支える環境配慮型住宅を前面に打ち出した「グリーンファースト戦略」です。戸建住宅受注全体に占める「グリーンファースト」の比率は2012年度上期で84%。昨年度より6ポイント上昇しました。また、燃料電池の搭載比率も5割を超えました。さらに昨年8月、世界に先駆けて発表した3電池（太陽電池・燃料

電池・蓄電池)を備えた先進の住まい「グリーンファーストハイブリッド」も、発売以来、早くも約300棟の販売実績をあげています。“地震にブレーキをかける”オリジナル制震システム「シーカス」の搭載率も高まりました。

こうした社会や、お客様のニーズに、常に一歩進んだ技術ででお応えし、新たな提案を続けるのが私たち積水ハウスの使命です。エリアマーケットの強化で成果をあげる賃貸住宅事業、積水ハウスグループ全体が連携して取り組むリフォーム事業などの分野においても、共通のテーマ「グリーンファースト」の考え方が、着実に浸透してきました。

「SLOW & SMART」な暮らしの実現、 「スマートコモンシティ」を全国展開。

そして、その延長線上にあるのが、地域で電力需要を最適化し、エネルギーの自給自足を実現する「スマートタウン構想」の具体化です。積水ハウスは、これまで蓄積したノウハウや独自の技術を投入し、「グリーンファーストハイブリッド」を基軸に据えた「スマートコモンシティ」を提案しています。時代が求める新しい社会インフラづくり、その真ん中に「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」の拠点となる住宅がある。住宅が、情報・家電・電気自動車など、関係

する多様な分野の技術や産業の中心軸になるという発想です。

「スマートコモンシティ」のキーワードは「安全・安心」「健康・快適」「エネルギー」「見守り」の4つ。最先端技術を取り入れながら、理想的なコミュニティの形成にも配慮し、人々に快適な暮らし、生涯の安心と満足をお届けします。

既に、東北復興の一翼を担う日本初のスマートタウン「スマートコモンシティ明石台」が、今年4月、宮城県仙台市北部に誕生しました。さらに、茨城・千葉・横浜・山梨・福岡など、全国展開もスタートしています。

一方で、社会的要請の高まる医療・介護施設の建設にも積極的に進出。グループホームやアクティブシニア向け賃貸住宅などに、これまで積水ハウスが培った独自の技術や「生涯住宅思想」を織り込み、「プラチナ事業」として成長を目指します。

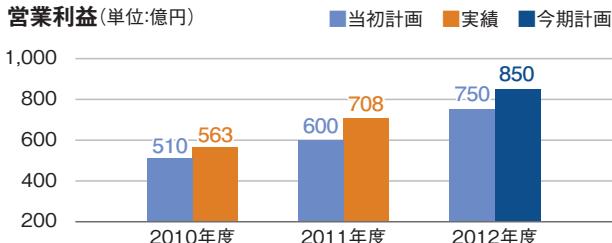
「グリーンファースト」、「スマートコモンシティ」、そして、「プラチナ事業」。そのすべての根底にあるものは、「SLOW & SMART」な暮らしの実現。ゆっくり生きていく、住まいの先進技術。これからは積水ハウスらしい、積水ハウスならではの取り組みで、時代を先取りする事業展開を行ってまいります。

■ 中期経営計画の推移

売上高(単位:億円)



営業利益(単位:億円)



先進的な環境技術、工業化住宅の優れた品質に、海外でも高い評価。

オーストラリアでの住宅建設・販売からスタートした国際事業が本格稼働して2年目を迎え、黒字化の目処が立ってきました。まず、アメリカの複数の州で共同デベロッパーとして参画している開発事業が、それぞれ好調に進んでいます。

オーストラリアで新たに着手したマンション及びオフィスなどの複合開発「セントラルパークプロジェクト」、シンガポールでのマンション事業も順調に推移しています。

中国でも複数のプロジェクトが同時進行しています。瀋陽市では、国家プロジェクトの産業団地「現代建築産業パーク」に中核企業として進出。今年4月には、鉄骨住宅生産工場が完成しました。日本の工業化住宅システムの本格的な生産拠点の誕生は初めてのことです。今後、本工場から中国各都市への高品質な住宅供給が始まります。

積水ハウスの先進的な環境技術、工業化住宅の優れた

品質、地域の文化・風土に配慮した設計やまちづくりの思想は、各国で高い評価を受けています。その結果、海外事業は、将来的に収益を支えるひとつの柱に成長すること

が視野に入ってきました。もちろん今後も、進出する国の状況に応じてパートナーを選択し、潜在リスクに最大限の注意を払いながら事業を推し進めてまいります。

最後に、積水ハウスは、全国5工場に、合計6.5メガワットの太陽光発電システムを設置することをご報告させていただきます。今年7月から再生可能エネルギーの固定価格買取制度がスタートしたこともあり、お客様の太陽光発電への関心はますます高まっています。積水ハウスの受注状況もその傾向を、はっきりと示しています。今後、自らの工場にメガソーラーを設置することで、そのメリットを多くのお客様にアピールするとともに、環境技術における住宅業界のトップランナーとしての社会的責任を、具体的な企業活動の中で果たしてまいります。

これからの住まいづくりやまちづくりを通して、未来の暮らしと社会を、そして世界を見つめる積水ハウス。その新たな取り組み、確かな成長力にどうぞご期待ください。

2012年9月



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第 2 四半期末 (2012年7月31日現在)	前期末 (2012年1月31日現在)
資産の部		
流動資産	900,525	916,074
固定資産	550,717	529,754
有形固定資産	370,383	354,135
無形固定資産	15,033	14,331
投資その他の資産	165,300	161,287
資産合計	1,451,243	1,445,828
負債の部		
流動負債	386,994	408,251
固定負債	301,970	287,202
負債合計	688,964	695,454
純資産の部		
株主資本	756,387	746,028
資本金	186,554	186,554
資本剰余金	237,522	237,522
利益剰余金	336,510	326,153
自己株式	△4,199	△4,201
その他の包括利益累計額	△871	△2,198
新株予約権	394	365
少数株主持分	6,368	6,178
純資産合計	762,279	750,374
負債純資産合計	1,451,243	1,445,828

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第 2 四半期(累計) (2012年2月 1日から 2012年7月31日まで)	前第 2 四半期(累計) (2011年2月 1日から 2011年7月31日まで)
売上高	758,008	746,393
売上原価	620,712	614,519
売上総利益	137,296	131,874
販売費及び一般管理費	104,021	99,321
営業利益	33,274	32,552
営業外収益	3,323	3,684
営業外費用	2,340	3,668
経常利益	34,257	32,568
特別利益	—	—
特別損失	2,883	3,049
税金等調整前四半期純利益	31,373	29,518
法人税等	13,572	12,631
少数株主利益	725	18
四半期純利益	17,075	16,868

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第 2 四半期(累計) (2012年2月 1日から 2012年7月31日まで)	前第 2 四半期(累計) (2011年2月 1日から 2011年7月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,773	△28,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,078	△18,482
財務活動によるキャッシュ・フロー	△366	48,621
現金及び現金同等物に係る換算差額	△75	859
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△34,294	2,698
現金及び現金同等物の期首残高	169,524	151,983
現金及び現金同等物の四半期末残高	135,229	154,681

NEWS FLASH

ニュースフラッシュ

中国・瀋陽に鉄骨住宅生産工場が完成 住宅近代化需要に応え、中国事業を展開

中国・瀋陽市で建設を進めてきた鉄骨住宅の生産工場が、4月15日に竣工し操業を開始しました。日本の工業化住宅システムの本格的な生産工場としては、初の中国進出となります。

積水ハウスは、瀋陽市が推進する国家プロジェクトの産業団地「現代建築産業パーク」の中核企業として、中国の次世代省エネ・高性能住宅需要への対応を進めています。本工場は、積水ハウスが中国国内で手掛ける複数の大型都市開発プロジェクトにおける戸建住宅（タウンハウス）用の鉄骨部材やオリジナル外壁、マンション向けの建材や内装設備を生産し、現地への高品質な住宅を供給してまいります。



工場竣工式で遼寧省・王珉書記（左から2人目）、瀋陽市・曾維書記（右端）、瀋陽市・陳海波市長（左端）とともに工場稼働開始のボタンを押す積水ハウス会長 和田勇



「グランドメゾン狛江」(外観イメージ)



「グランドメゾン大濠Park」(外観イメージ)

グリーンファーストの環境配慮型マンション 「グランドメゾン狛江」、「グランドメゾン大濠Park」

積水ハウスは、環境配慮型住宅「グリーンファースト」の考え方を分譲マンションにおいても活かし、快適に暮らしながら節電対策にも貢献するグリーンファーストマンションの建設を進めています。

今年6月に販売を開始した「グランドメゾン狛江」（東京都狛江市）は、太陽熱利用ガス温水システムと「ガスコージェネレーション」の2つを活用し、水道水直接加温方式によりガス消費量の削減を実現します。

また、今年5月に着工した「グランドメゾン大濠Park」（福岡市中央区）では、日本で初めて分譲マンションの全戸に「エネファーム」を採用しました。屋根には太陽光発電システムを搭載しており、高い電力自給率が確保できます。

「子育て支援」と「高齢者向け」の複合居住物件 多世代交流型賃貸マンション「マストライフ古河庭園」

今年3月に竣工した「マストライフ古河庭園」(東京都北区)は、子育て支援住宅66戸とサービス付き高齢者向け住宅62戸を、同一建物内に併設した多世代交流型賃貸マンションです。世代間交流を促進するとともに、親世帯と子世帯がお互いの生活・プライバシーを守りながら、容易に行き来ができる新しい二世帯住宅の形態も提案しています。

それぞれの世帯に対し、多様なサポートを提供するコンシェルジュサービスや、緊急時対応などのセキュリティサービスを完備。また、居住者同士や地域住民などと世代間交流が図れるイベントの開催をサポートするなど、多世代が安全・安心かつ快適に、いきいきと暮らすための配慮と工夫を盛り込んでいます。



「マストライフ古河庭園」



コンシェルジュサービス



キッズルーム

次世代ソーラー住宅を競う「ソーラー・デカスロン」 日本から初参加する千葉大学に建築協力



千葉大学構内に建てられた「おもてなしハウス」の試作棟

積水ハウスは、「ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ2012」に競技参加する千葉大学チームの出展に協賛し、次世代ソーラー住宅の建築に協力します。「ソーラー・デカスロン」は、世界の20の大学チームが太陽光発電システムを搭載した住宅を建築し、総合的な順位を競う大会。太陽光発電の効率性だけでなく、デザイン性・建築的完成度・快適性・持続可能性など、計10項目が審査項目になります。

日本からの初参加となる千葉大学チームは、軒の深い伝統的な日本の建築空間と最先端の環境技術を融合させた「おもてなしハウス」を出展し、スペイン・マドリードで9月に行われる本大会に臨みます。積水ハウスは、環境性能にも優れた高品質な住宅を建築する技術を活かし、積和建設など積水ハウスグループの総力を挙げて「おもてなしハウス」の建築に協力します。

会社情報

会社概要

社名	積水ハウス株式会社
設立年月日(実質上)	1960年8月1日
本社	〒531-0076 大阪市北区大淀中一丁目1番88号 (梅田スカイビル タワーイースト) TEL.(06)6440-3111(代)
資本金	1,865億5,419万円

役員一覧

代表取締役会長兼CEO	和田 勇	常務執行役員	中野 啓吾
代表取締役社長兼COO	阿部 俊則	常務執行役員	藤原 元彦
取締役副社長兼副社長執行役員	和田 純夫	執行役員	石井 直樹
取締役副社長兼CFO兼副社長執行役員	稲垣 士郎	執行役員	石岡 孝伸
取締役	町田 勝彦	執行役員	吉崎 道夫
取締役	三枝 輝行	執行役員	浅野光太郎
取締役兼専務執行役員	平林 文明	執行役員	山田 寿夫
取締役兼専務執行役員	伊久 哲夫	執行役員	松島 雄一
取締役兼常務執行役員	内田 隆	執行役員	三谷 司
取締役兼常務執行役員	黒木 大二	執行役員	中田 孝治
取締役兼常務執行役員	吉田 憲五	執行役員	岩田 晴幸
常任監査役	岩崎 正	執行役員	芦田 登
常任監査役	久保田 芳郎	執行役員	西田 勲平
監査役	土肥 孝治	執行役員	赤松 大介
監査役	篠原 祥哲	執行役員	黒田 章
監査役	國定 浩一	執行役員	佐藤 博之
常務執行役員	寺崎 明久	執行役員	堀内 容介
常務執行役員	老川 正昭	執行役員	石田 建一
常務執行役員	勝呂 文康	執行役員	皆川 修

WEBサイト

当社はホームページを重要な情報発信源のひとつとして認識しており、商品情報や決算情報などを適宜掲載しております。ぜひ、ご覧ください。



<http://www.sekisuihouse.co.jp/>

主な事業所

- 東京支社 〒107-0052
東京都港区赤坂四丁目15番1号
(赤坂ガーデンシティ)
TEL.(03)5575-1700(代)
- 東北営業本部 〒980-0014
仙台市青葉区本町二丁目15番1号
(ルナール仙台)
TEL.(022)265-1705
- 東京営業本部 〒151-8070
東京都渋谷区代々木二丁目1番1号
(新宿マインズタワー)
TEL.(03)5352-3200
- 東京シャーマン事業本部
〒151-8070
東京都渋谷区代々木二丁目1番1号
(新宿マインズタワー)
TEL.(03)5352-3220
- 神奈川営業本部 〒220-8120
横浜市西区みなとみらい二丁目
2番1号(横浜ランドマークタワー)
TEL.(045)650-7311
- 埼玉営業本部 〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町一丁目
7番5号(ソニックシティビル)
TEL.(048)647-3931
- 東関東営業本部 〒261-7119
千葉県美浜区中瀬二丁目6番1号
(WBGマリブイースト)
TEL.(043)350-1811
- 北関東営業本部 〒320-0811
宇都宮市大通り二丁目1番5号
(明治安田生命宇都宮大通りビル)
TEL.(028)636-6761
- 中部第一営業本部 〒450-6042
名古屋市名村区名駅一丁目1番4号
(JRセントラルタワーズ)
TEL.(052)533-1637
- 中部第二営業本部 〒422-8067
静岡県駿河区南町18番1号
(サウスポット静岡)
TEL.(054)284-1222
- 西日本シャーマン事業本部
〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番93号
(梅田スカイビル ガーデンシックス)
TEL.(06)6440-3456
- 関西第一営業本部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番93号
(梅田スカイビル ガーデンシックス)
TEL.(06)6440-3645
- 関西第二営業本部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番93号
(梅田スカイビル ガーデンシックス)
TEL.(06)6440-3646
- 中国営業本部 〒731-0113
広島市安佐南区西原五丁目16番6号
(ケイ・ティビル)
TEL.(082)871-7701
- 四国営業本部 〒761-8062
高松市室新町1019番地1号
TEL.(087)867-5101
- 九州営業本部 〒812-0011
福岡市博多区博多駅前三丁目25番
21号(博多駅前ビジネスセンター)
TEL.(092)472-3211
- 国際事業部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番88号
(梅田スカイビル タワーイースト)
TEL.(06)6440-3723
- 開発事業部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番88号
(梅田スカイビル タワーイースト)
TEL.(06)6440-3565
- マンション事業本部 〒160-0023
東京都新宿区西新宿一丁目20番
2号(ホウライビル)
TEL.(03)6302-3621

株式情報

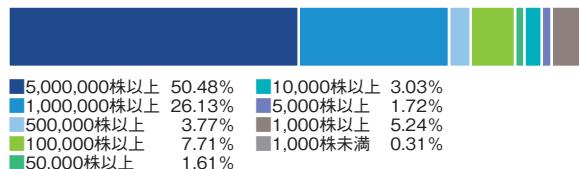
株式の状況 (2012年7月31日現在)

発行可能株式総数	1,978,281,000株
発行済株式の総数	676,885,078株
株主数	36,940名
株主1人当たり持株数	18,324株

大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(株)	所有比率(%)
積水化学工業株式会社	72,168,727	10.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	47,506,000	7.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	46,390,000	6.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	19,466,000	2.88
積水ハウス育資会	18,387,569	2.72
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,624,515	2.01
SSBTOD05OMNIBUSACCOUNT-TREATYCLIENTS	12,917,200	1.91
第一生命保険株式会社	12,158,730	1.80
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505225	10,126,520	1.50
日本生命保険相互会社	9,706,332	1.43

所有株数別株式分布状況



所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	4月
基準日	期末配当金 1月31日 中間配当金 7月31日

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
TEL.0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所
東京・大阪・名古屋証券取引所
市場第1部

各種手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度のご案内

当社は、以下の株主優待制度を実施しております。制度の詳細は、当社インターネットホームページ(>企業・IR情報>株主・投資家情報>株主情報>株主優待)にて公開しております。ご不明な点は下記窓口にお問合せください。

- 株主優待贈呈制度
1月末時点で1,000株以上ご所有の株主様に対し、同年10月下旬から11月上旬にかけて、1名当たり5kgの「魚沼産コヒナカリ(新米)」を贈呈いたします。
- 株主優待ポイント制度
1月末、7月末時点で100株以上ご所有の株主様に対し、それぞれ4月末、9月末に、当社グループとの取引時に値引きとしてご利用いただけるポイントを、保有株数に応じて付与いたします。

当制度は、当社グループが施工・販売した建物以外のリフォーム工事につきましても、積和建設各社との取引においてご利用いただけます。

(お問合せ窓口)

積水ハウス株式会社 株主優待事務局(法務部内)
TEL.0120-559-990(通話料無料)
ご利用時間 9:00~11:55、13:00~18:00
※但し、土日祝日、年末年始休及び夏季休暇中はご利用いただけません。

より充実した共働き生活を実現するノウハウ

家族と自分の時間を大切にしながら 共働きを続けていくために

積水ハウスが提供する共働き家族のための住まい「トモイエ」は、仕事と家庭を両立しながら、暮らしをさらに充実させていく新たなライフスタイルを提案します。「トモイエ」では、共働き家族の生活実態に基づき、空間設計や住宅設備に関するアイデアを体系化し、「トモイエ5つの法則」にまとめました。

..... 「トモイエ5つの法則」

家事のストレスを
軽減

トモイエ
法則1

わが家のペースで
「スムーズな洗濯」



トモイエ
法則2

いつも快適なリビングに
「ざっと隠せる厨房」



留守中に発電
財産も守る

トモイエ
法則3

留守中活躍
「家族のために働く家」



家族や自分のための
ゆとりの時間が増える

トモイエ
法則4

ひとりひとりが満たされる
「夫婦それぞれの空間」



トモイエ
法則5

家族がつながる
「カフェコーナー」



トモイエ

共働きファミリーが暮らす家

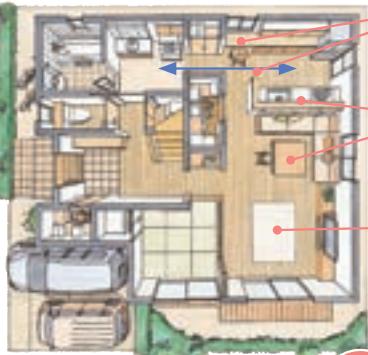
Life Style Book 「トモイエ」

積水ハウスでは、共働き家族にとって便利で頼りになる住まいづくりのノウハウをまとめたLife Style Book「トモイエ」を発行しています。「sumai smile (すまい・すまいる)メンバーズ」に会員登録の上、資料請求をお申し込みください。

<http://sumai-smile.net/member/>



1階



空間設計で家事をスムーズに

水回りを一直線にして、家事の動線をスムーズに。まとめ買いした食材の保管はパントリーに。

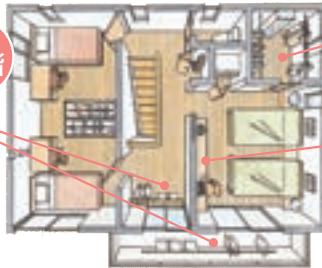
家族がつながるキッチン・ダイニング

対面式キッチン・ダイニングには椅子でなくソファを。食事からリラックスタイムに自然に移行できます。

のびのび気ままな床座リビング

気ままにくつろげる床座スタイルのリビングは小さなお子さまのいるご家庭におすすめです。

2階



いつでも洗濯物が干せるスペース

夜間でも隣家の視線を気にせず、洗濯物が干せるハイウォールバルコニー。室内側には、雨の日に干せる専用スペースを用意。

夫婦で使い分けるクローゼット

ウォークインクローゼット内を左右に分け、衣類を探す手間も大幅に軽減。

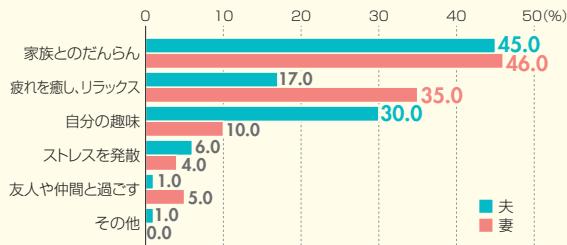
就寝前のくつろぎカウンター

寝室に作り付けのカウンターを設け、寝る前のひとときを静かに過ごすコーナーに。

データで見る共働きライフ①

暮らしの中で最も大切にしている時間は？

積水ハウスでは、20～30歳代の共働き家族を対象に暮らしの中で最も大切にしている時間についてアンケートを実施しました。結果、「家族とのだんらん」が最も多く、次いで「疲れを癒し、リラックス」、「自分の趣味」となりました。家族が触れ合うシーンを大事にしつつ、一人になる時間と空間も求めていることがわかります。



*積水ハウス「共働き家庭の生活実態調査2009」より

データで見る共働きライフ②

洗濯物の上手な室内干しのコツとは？

多くの共働き家族は、夜間洗濯・室内干し派。積水ハウスが行った実験の結果、室内干しの効率的な乾燥には、換気扇の作動が有効であることが判明。さらに、除湿器や扇風機との併用で効果が一層高まることがわかりました。



- ・洗濯物は4人家族相当量
- ・季節は冬を想定

*積水ハウスによる実験結果より

● DATAで見るイマドキの住まい ●



夫の80%、妻の92%が希望。 これって一体、何の数字!?

近 年、共働きの世帯数が増え続けています。男女共同参画社会基本法が制定された1999年の時点では、専業主婦世帯数が912万世帯、共働き世帯数が929万世帯でしたが、同法の施行後は専業主婦の減少に拍車がかかり、両者の開きが拡大。2010年には、専業主婦世帯数797万世帯に対して、共働き世帯数は1,012万世帯を占めるまでになりました。

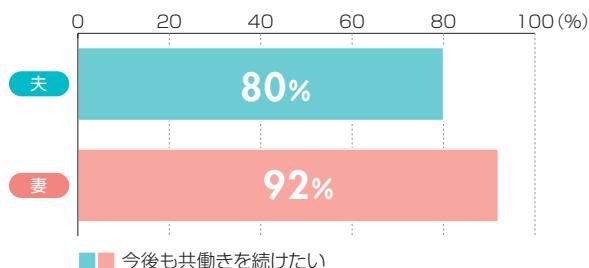
(数値は内閣府「平成23年版男女共同参画白書」より)

こ の傾向は、これからも続いていくのでしょうか？
積水ハウスでは、20～30歳代の共働き家族を対象にアンケートを実施し、共働きの継続意向を調査しました。その結果、夫の80%、妻の92%が何らかの形で今後も共働きを続けたいと回答。圧倒的多数の夫婦が積極的な共働き指向を持っていることがわかりました。

← 積水ハウスからのご提案！
「より充実した共働き生活を実現するノウハウ」を紹介

● フルタイムで働く夫婦のうち、共働きの継続を望んでいる割合

*積水ハウス「共働き家庭の生活実態調査2009」より



も はや一時的な生活スタイルではなくなってきた共働き。その背景としては、ワークライフバランスへの関心や、男性の家事・育児参加への意識が高まり、「対等な夫婦関係」という価値観が根付いてきたことなどが挙げられるでしょう。スムーズな家事のコツや生活空間づくりの工夫を活かすことで、家族と自分の時間を大切にしつつ、楽しく充実した共働きライフを送りたいものですね。

積水ハウス株式会社

本社 〒531-0076 大阪市北区大淀中一丁目1番88号 梅田スカイビル タワーイースト
TEL.(06)6440-3111(代)
<http://www.sekisuihouse.co.jp/>



この報告書は、FSC® 認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。